

リサイクルの
洋服・着物・家具
の安価販売！

りっくるだより No. 245 (2023年3月号)

お手頃価格の
着物リメイク製品・手すき
葉書・ふすま張替



工房イベント

畳縁でバッグ作り

日時：3月19日(日)
10:00~14:30

内容：畳の縁でA4サイズのバッグ作り
対象：大人

(職業ミシンが使える人)



人数：6人
参加費：600円
持参品：裁縫道具、昼食
布は先生がご用意
締切：3/10(金) **必着**

<見本>



企画イベント

おもちゃ病院

日時：3月26日(日)
① 午前(受付 10:00~11:30)
② 午後(受付 13:00~14:30)
内容：壊れたおもちゃの修理(キーボード、
電子基板のものは不可)、1組2個まで
※修理内容も明記、①か②選択
対象：親子で参加
人数：各15組
参加費：無料(部品は実費)
締切：3/15(水) **必着**



リサイクル探検ツアー

日時：3月30日(木)(りっくる集合 12:40)
12:50~15:15
内容：廃車を鉄、アルミ等にリサイクルする様子
を見学 ※りっくるから貸切バスで移動
行先：金城産業 松山港リサイクルセンター(大可賀)
対象：小学4年生以上の親子
人数：10組
参加費：無料
持参品：動きやすい服装、靴、筆記用具
締切：3/17(金) **必着**



申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、HP(おもちゃ病院・イベント)申込フォームで <https://rikkuru.jp>
住所・参加者全員の氏名(フリガナ)・学年・電話番号・イベント名を記入の上、
〒790-0054 松山市空港通 1-1-32 まつやま Re・再来館「●●」係まで



りっくるHP

「思い出した戦時下のリサイクル」

ウクライナの戦争は1年経っても収まりそうもありませんが、ロシアのミサイルの残骸を片付けている市民の姿を見て思い出したことがあります。太平洋戦争の際に日本の主要都市はB29の無差別爆撃を受けて焼け野原になりましたが、たまに撃ち落されたその機体を市民は有効活用していました。兵器に使用するための金属供出によって、鍋やフライパンのない中、B29のジュラルミン板を切り叩いて成型し、その代用品を作っていました。燃え残った柱や板やトタンを集めてバラックを建ててそこに住み続けたり、河原で流木を集めて水の便の良い河川敷に小屋を建てる人もいました。リサイクルには「もったいない」と共に、「絶望しない」という精神もあるように思います。(高岸)

修理工房

<持込可能な家具の修理><網戸張替>

※ 申込方法・締切(2/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要！
3月4日(土)10~12時 ※ 家具・網戸実費(600円程度/網・ゴム持参は100円/横幅85cm以上は別料金)

※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。

※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで6ヵ月前まで閲覧できます。

※ facebookで日々のできごとを掲載しています！

ホームページ <https://rikkuru.jp> からログイン！